

## スポーツ団体ガバナンスコード&lt;一般スポーツ団体向け&gt;に係るセルフチェックシート

[団体名： 愛媛県軟式野球連盟 ]

[記載日： 令和 7 年 3 月 3 日 ]

## 【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項 目	対応状況
<b>原則 1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。</b>	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 一般社団法人としての定款を定め、令和 6 年 1 月当初にて法人格を取得し、現在、定款に基づいた運営を行っている。	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	該当なし
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 目標としていた法人格は取得したが、その利点を生かす運営が十分に行われていないため、効果的な運営を行うことができるよう更に努める。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 事業運営においては、適用される関係法令、地方公共団体が定める各種条例や規則等を遵守している。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 定款(規約)に定める理事、監事 2 名の役員体制を整えている。 令和 8 年度役員改選に当たっては、外部役員、女性役員の増員を図り、目標達成を目指す(外部役員 25%、女性役員 40%)。	

<b>原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</b>	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	B
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>基本方針を定め、事業計画書に記載の上、社員総会及び理事会に諮っている。  (中期展望として基本計画を策定し、本連盟のホームページにて公表する予定である。策定に当たっては、専門委員会の審議だけではなく、会員からも幅広く意見を募り、理事会の決議を経る。)</p>	
<b>原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</b>	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>令和6年度、令和7年度において、役職員、審判員各1回の研修会を実施した。  また、令和7年度には中央競技団体が開催のコンプライアンス研修会に、理事長及び審判部長が参加した。</p>	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>令和7年度において学童部指導者に対しコンプライアンス教育とハラスメント研修会を実施した。  また、令和7年度において、天皇賜杯全日本大会に出場するチームの指導者を中央競技団体が実施したハラスメント研修会に派遣した。  今後は、更に幅広い会員指導者への研修会を実施する。</p>	
<b>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</b>	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>一般社団法人会計基準に基づき、適切に会計処理を行う。  (財務、経理に関する規程を整備するとともに、公正かつ適切な会計処理を実施するための業務手順を整備している。)</p>	

(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 助成元における交付要綱等の規程に沿って適切に処理し、助成元の審査を受けている。	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 現在は2名の監事を選任し、年1回の監査を実施し、公認会計士の監査を受けている。	
<b>原則5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。</b>	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 法令で定められている書類（定款、事業計画書、収支予算書、事業報告書、貸借対照表及び財産目録等）を事務局に常備し、要請に応じて閲覧できる体制を整えており、年次ごとの社員総会資料を（公財）全日本軟式野球連盟、（公財）愛媛県スポーツ協会へ提出している。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 本協会（連盟）のホームページにおいて、上記資料を含め、役員名簿や各種事業の情報を公開している。	

<p>原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード&lt;NF 向け&gt;の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。</p>	
<p>自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード&lt;NF 向け&gt;の規定があるか (ある場合は下欄に記述)</p>	
<p>原則 1 から原則 1 3 について</p>	<p>A</p>
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <p>本協会(連盟)では、ガバナンスコード(NF 向け)の個別規定については、各原則の内容を精査確認の上、ガバナンスの確保が求められると判断する場合は、自己説明と公表を行う。</p>	
<p>原則 2 : 適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。</p>	<p>B</p>
<p>(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)</p> <p>次期役員改選(2026 年 2 月)には、外部理事割合 30%以上、女性理事割合 40%の目標達成へ向け整備を進める。</p> <p>理事会については、現行の規程どおり 3 名以上 30 名以内で構成する。</p> <p>また、役員 の 定年制導入については、今後、検討委員会を設置し、議論する。</p> <p>前回の役員改選には外部 3 名、内部 1 名による役員候補者選考委員会を設置し、推薦を受けた。</p> <p>次回の役員改選時においても同様の手順にて進めたいと考えている。</p>	

※原則 6 については、中央競技団体の指導や助言により、自己説明と公表が必要と判断される項目について記載してください。特に、指導等がない場合は、記載の必要はありませんが、ガバナンスコード策定の趣旨から、自らに適用することが必要と考えられる項目を積極的に記載してください。